

主要産地における令和5年産水稲の生育状況等について 第8報 (令和5年7月13日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年7月13日)

道府県	区分	生育状況等		(参考)
		生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	技術・防除・気象等関係公表資料(自治体、気象庁等公表資料の抜粋)	
北海道	(生育)	【生育状況(7月1日現在)】 (全道) 生育は平年よりやや早く進んでいる。(北海道農政部 7月6日付) (空知) 生育はやや早く進んでいる。(空知総合振興局 7月6日付) (石狩) 高温多湿により、分けつが発生が旺盛となり生育が進んだ。(石狩振興局 7月6日付) (根室) 遅延は早3日。(根室総合振興局 7月6日付) (釧路) 高温・多湿で生育が進んでいる。生育はやや早い。(釧路総合振興局 7月6日付) (日高) 生育は概ね平年並に推移している。(日高振興局 7月6日付) (渡島) 生育は平年並に推移している。(渡島総合振興局 7月6日付) (樺山) 生育は平年よりやや早く推移。(樺山振興局 7月6日付) (上川) 生育は平年並である。(上川総合振興局 7月6日付) (網走) 生育は平年よりやや早く進んでいる。(網走振興局 7月6日付) (オホーツク) 好天により、生育は平年よりやや早く進んでいる。(オホーツク総合振興局 7月6日付)	【全国】春からエルニーニョ現象が続いているとみられる。今後、秋にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%)。(気象庁 7月10日付) 【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)	令和5年の品種構成の概況 ・「なつげし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和5年3月15日) (出典資料は以下同じ)
		【7月10日現在の生育】 ・「つがるロケット」は草丈が67.2cmで平年より7.9cm長く、株当たりの茎数は36.6本で6.0本多く、葉数は10.7葉で0.2葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が72.3cmで6.2cm長く、株当たりの茎数は28.6本で0.8本多く、葉数は9.5葉で平年並であった。 ・「ふとしくら」は草丈が72.1cmで6.7cm長く、株当たりの茎数は22.6本で1.2本多く、葉数は10.3葉で0.2葉多かった。 ・「はれわたたり」は草丈が71.1cm、株当たりの茎数は31.5本、葉数は9.7葉であった。 (地独) 青森県産産技術センター農林総合研究所 7月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「まっしぐら」及び「つがるマリン」を中心とする品種構成となっており、
青森	(生育)	【7月10日現在の生育】 ・「つがるロケット」は草丈が67.2cmで平年より7.9cm長く、株当たりの茎数は36.6本で6.0本多く、葉数は10.7葉で0.2葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が72.3cmで6.2cm長く、株当たりの茎数は28.6本で0.8本多く、葉数は9.5葉で平年並であった。 ・「ふとしくら」は草丈が72.1cmで6.7cm長く、株当たりの茎数は22.6本で1.2本多く、葉数は10.3葉で0.2葉多かった。 ・「はれわたたり」は草丈が71.1cm、株当たりの茎数は31.5本、葉数は9.7葉であった。 (地独) 青森県産産技術センター農林総合研究所 7月10日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「まっしぐら」及び「つがるマリン」を中心とする品種構成となっており、
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。前の「サシガネ」品種である「霞のしくり」が、耐水性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
岩手	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。前の「サシガネ」品種である「霞のしくり」が、耐水性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。前の「サシガネ」品種である「霞のしくり」が、耐水性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(生育)	【7月10日現在の生育】 ・古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は68.2cm(平年比113%)、1m <sup>2</sup> 当たりの茎数は585本(平年比114%)、葉数は10.9枚(平年差+0.6枚)となっており、平年と比較して生育はやや進んでいる。 ・幼穂長は2.0cm(平年差+0.3cm)となっており、7月7日に幼穂形成期に達したとみられる。(宮城県 7月11日付) 【7月10日調査】(庄) アサダスの気温を用いた予測では、豊平均の田植え時期(5月12日)における「ひとめぼれ」の出穂期は8月1日頃。(宮城県農業改良普及センター 7月11日付) (仙) 「ひとめぼれ」と「ササニキ」は幼穂形成期に入った。(宮城県仙台農業改良普及センター 7月11日付) (美) 出穂盛期は7月31日頃と予測される。(平年8月2日)(宮城県美里農業改良普及センター 7月11日付) (栗) 「ひとめぼれ」は、草丈と葉数は平年並、葉色は淡くなっている。茎数は、平年と比べ少ないものの、移植栽培の生育量の目安(7月10日頃(幼穂形成期)470～530本/m <sup>2</sup> )の範囲内となっている。「だて正実」、「金のいぶき」、「新えみのり」も幼穂形成期に達した。(宮城県栗原農業改良普及センター 7月12日付) (石) 巻) 幼穂形成期は7月4～9日頃、平年より草丈は長く、茎数は少ない。出穂は平年より3日早まる見込み。(宮城県石巻農業改良普及センター 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。前の「サシガネ」品種である「霞のしくり」が、耐水性・耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
秋田	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
福島	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
茨城	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
栃木	(生育)	【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【7月10日現在の生育】(県内農業改良普及センター 一斉調査) ・生育診断予断書における7月10日現在の生育(前平均)は、草丈64.0cm(平年差+2.5cm)、茎数は515本/m <sup>2</sup> (平年比97%)、葉数は10.2葉で平年より1.0多い。 (岩手県農業普及技術課 7月11日付)	【向こう1か月の天候の見通し】7月15日～8月14日 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し】7月～9月 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月は「げんげ」、ニカメイガ、斑点米カメムシ、紋枯病の発生が多いと予想される。(農林水産省 7月12日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。



愛 媛	<p>(生育状況等)</p> <p>【2023年度「ひめの雫」の生育状況（7月10日現在）】</p> <p>（5月22日移植 7月10日調査）  ・草丈(cm) 61.4、葉数(本/㎡) 362、一株あたり茎数(本/株) 23.9、葉色(SPAD値) 32.8</p> <p>（6月1日移植 7月10日調査）  ・草丈(cm) 54.3、葉数(本/㎡) 323、一株あたり茎数(本/株) 21.3、葉色(SPAD値) 37.5</p> <p>（6月14日移植 7月7日調査）  ・草丈(cm) 58.4、葉数(本/㎡) 241、一株あたり茎数(本/株) 15.9、葉色(SPAD値) 40.3</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 7月13日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は平年並が多い見込み。  (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月23日、斑点米カメムシ、結実枯病、いもち病、ごま葉枯病の発生が多いと予想される。  (農林水産省 7月12日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>【6月月報】</p> <p>(早期稲) 穂発芽～出穂期、時期：並、生育：並  ・6月に入って雨の日が多いが、草丈はほぼ平年並、分けつ数は平年並～やや多く、出穂時期は穂早生品種、「コシヒカリ」ともほぼ平年並で推移している。</p> <p>(普通期稲) 分けつ期、時期：並、生育：並  ・田植えはほぼ終了し、順調に生育しているが、一部で移植後もいもちの影響を受けている様が見られる。</p> <p>(高知県病害虫防除所 7月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  九州北部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は平年並が多い見込み。  (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月23日、斑点米カメムシ、結実枯病、いもち病、ごま葉枯病の発生が多いと予想される。  (農林水産省 7月12日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)  ・田植え後、多雨の影響により、草丈は平年よりやや高く、茎数は少ない、ワカサギの発生は確認されていない。  4月下旬植えの出穂期は7月4半頃で、平年よりやや遅くなる見込み。</p> <p>【普通期水稲】(夢つくし、元気づくし、ヒノヒカリなど)  ・苗の生育は概ね順調、育苗期の不安定な天候により、一部で軟弱苗や病気の発生が見られる。  ・現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気づくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は平年並が多い見込み。  (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気づくし」を中心とする品種構成であるが、「元気づくし」が増加傾向となっている。県では「実りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、元気づくし、ヒノヒカリなど)  ・苗の生育は概ね順調、育苗期の不安定な天候により、一部で軟弱苗や病気の発生が見られる。  ・現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気づくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は平年並が多い見込み。  (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気づくし」を中心とする品種構成である。「元気づくし」はリーディング品種として増強傾向が顕著である。</p>
宮 崎	<p>【作物の生育状況（6月中旬）】</p> <p>・早期水稲は稲ばらみ期、普通期水稲は移植前後。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月30日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月19日頃からかなりの高温。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みそ38」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、元気づくし、ヒノヒカリなど)  ・苗の生育は概ね順調、育苗期の不安定な天候により、一部で軟弱苗や病気の発生が見られる。  ・現在、収穫後のほ場でも田植えが始まり、平地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気づくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月15日～8月14日】  九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。  降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】  九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。  降水量は、ほぼ平年並の見込み。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月19日頃からかなりの高温。  (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。普通栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：農及び地方自治体、出版機関等がホームページで公表している資料を本調査情報で取り纏め。  
注2：生育状況等（自動採体の検査資料の作物）については令和6年7月13日 15時時点での取り纏め。  
注3：葉数調査は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 7月1日現在(北海道農政部 7月6日)、  
農作物生育状況 7月1日現在(北海道空知総合振興局 7月6日)、  
農作物生育状況 7月1日現在(北海道石狩振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道後志総合振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道胆振総合振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道日高振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道渡島総合振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道檜山振興局 7月6日)、  
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道上川総合振興局 7月6日)、  
農作物生育状況調査の概要 7月1日現在(北海道留萌振興局 7月6日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月6日)、  
水稲作況調査(7月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター 農林総合研究所 7月10日)、  
令和5年産岩手県内の水稲の生育概況(7月10日現在速報)(岩手県 7月11日)、  
令和5年産水稲の生育状況について(7月10日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 7月11日)、  
令和5年稲作情報第5号(宮城県亙理農業改良普及センター 7月11日)、  
仙台北稲作情報2023(第5号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月11日)  
令和5年産美里地区の稲作情報第6号(宮城県美里農業改良普及センター 7月11日)、  
栗原の稲作通信令和5年第6号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月12日)、  
稲作情報(Vol.6)(宮城県石巻農業改良普及センター 7月11日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」)http://www.e-komachi.jp/ 7月13日閲覧)、  
稲作だより第10号(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月11日)、  
おいしい米づくり情報第10号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 7月12日)、  
稲作だより第9号(西村山農業技術普及課 7月10日)、  
西おきたま米づくり情報No.9(西置賜農業技術普及課 7月11日)、  
主要な農作物の生育情報令和5年度第4号(福島県農林水産部農業振興課 7月10日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所作物研究室 7月11日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室 7月6日)、  
水稲生育診断速報No.4(栃木県農政経営技術課 7月6日)、  
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月28日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第5号)(新潟県農林水産部 7月11日)、  
岩船米づくり情報No.5(村上農業普及指導センター 7月12日)、  
稲作速報No.5(新潟農業普及指導センター 7月10日)、  
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月29日)、  
コンヒカリ生育情報第5号(魚沼農業普及指導センター 7月10日)、  
稲作情報No.5(長岡農業普及指導センター 7月10日)、  
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.5(7月10日調査)(南魚沼農業普及指導センター 7月11日)、  
コンヒカリ・こしいぶき生育速報No.5(6月20日)(上越農業普及指導センター 7月10日)、  
令和5年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.5(糸魚川農業普及指導センター 7月10日)、  
令和5年度稲作生育速報No.5(佐渡農業普及指導センター 7月10日)、  
十日町地域稲作生育速報(令和5年7月11日)(十日町農業普及指導センターほか 7月11日)、  
TACS情報第6号(富山県 7月11日)、  
令和5年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、  
稲作情報No.10(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月7日)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和5年)(長野県農業試験場 7月5日)、  
水稲高標高試験圃の生育状況(令和5年)(長野県農業試験場 7月5日)、  
令和5年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、  
令和5年度兵庫県農業気象技術情報No.3(7月情報)(兵庫県農林水産部 7月5日)、  
令和5年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月28日)、  
水稲生育状況(令和5年7月10日現在)(広島県立総合技術研究所農業技術センター 7月12日)、  
2023年度「ひめの魂」の生育状況(7月10日現在)(愛媛県農林水産研究所 7月13日)、  
病害虫発生予察情報について 令和5年度病害虫発生予察6月月報(高知県病害虫防除所 7月4日)、  
福岡県的主要農作物の生産状況(令和5年6月15日現在)(福岡県農林業総合試験場 6月22日)、  
令和5年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月30日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月13日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月13日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月13日気象庁)  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月13日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月13日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月13日広島地方気象台)  
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月13日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月13日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月13日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月20日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月20日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月20日気象庁)  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月20日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月20日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日広島地方気象台)  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月20日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月20日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(7月13日14時30分 気象庁)、  
エルニーニョ監視速報(No.370)について(気象庁 7月10日)、

「令和5年度病害虫発生予報第4号」(農林水産省 7月12日)、  
令和5年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)